



かおる

学校便り No.7

平成26年6月10日

郡山市立薫小学校

児童数 424名

文責：小林 伸行

大自然の中でのチャレンジ～5年宿泊学習～

豊かな自然体験活動の充実と規律ある生活習慣の形成、学級・学年の集団づくりに向けて、毎年、4・5学年において宿泊学習を行っています。

今回は、6月2日（月）から4日（水）までの3日間にわたり、5年生が宿泊学習を実施しました。活動の拠点としたのは、那須連峰の懐深くに抱かれた標高950mの国立那須甲子青少年自然の家。初夏の爽やかな日差しのもと、子どもたちは思う存分、自然や友達との関わりを深め、スコアオリエンテーリングやナイトハイク、茶臼岳登山など、多彩な活動プログラムに全力で挑戦してくれました。今回の活動の様子をいくつかご紹介します。

◎ スコアオリエンテーリングでグループの団結力が一気に高まりました・・・



《木漏れ日の中、ポイントを夢中で探しました》

1班7名から8名編成で、11班に分かれた子どもたちは、初日の午後、スコアオリエンテーリングに取り組みました。

本館周辺の樹木の陰に置かれたポイントを制限時間内にできるだけたくさん探すためには、回る順路が大きな鍵となります。子どもたちは協力し合いながら、自分たちで決めた順路に沿ってポイントを探し歩きました。まさに、班のチームワークが問われた2時間でした。

◎ 茶臼岳登山では自分の限界にも挑戦しました・・・

2日目には、今回のメインの活動となる茶臼岳登山に挑戦しました。午前10時20分にロープウェイ山頂駅を出発した子どもたちは、牛の首を経由して、11時40分に峰の茶屋に到着。昼食をとった後、標高1915mの茶臼岳に向かいました。

ゴツゴツとした岩肌を慎重に登り切り、山頂の鳥居をくぐった子どもたちの顔は、どの顔も疲れた中にも充実感にあふれて見えました。自分の足で一步一步登っていくことの重みをきつと感じ取ってくれたものと思います。



《遙か先に見えていた山頂はもう目の前です》

◎ 友情を確かめ合ったキャンプファイヤーも大いに盛り上がりました・・・

宿泊学習2日目の夜には、プレイホールでキャンプファイヤーを行いました。暗闇を力強く照らして燃えさかる炎を見つめる子どもたちの澄んだ瞳と、弾けるような明るい笑顔がとても素敵に見えました。司会やスタッツのゲーム進行を担当してくれた各班のレク係の子どもたちの頑張りも光りました。

子どもたちは、火の神から分火された「友情」「努力」「協力」「健康」の4つの炎をこれからも心の中で灯し続けてくれることでしょう。



◎ 5年生の子どもたちにとって、新たな出発となる3日間となりました・・・

高学年となって2ヶ月が過ぎたちょうどこの時期に、宿泊学習という大きな経験を積むことができた5年生。家族のもとを離れての3日間の生活の中で、自分たちの力で最後までやり遂げたという「自信」は、これからの学校生活の様々な場面で生きてくるものと思います。また、自分の心の「弱さ」に対する気づきも、今後、子どもたち一人一人の行動を変えていく契機となるものと期待しています。

宿泊学習での3日間の活動の振り返りを大事にして、子どもたちのこれからの大きな成長につなげていきたいと考えています。

縦割り班での清掃活動がスタート！！



《清掃の反省の仕方6年生が優しく教えてくれます》

5月21日（水）から、縦割り班による清掃活動が始まりました。1年生にとっては、上級生と一緒に初めての清掃となります。

黄色い帽子をかぶった1年生に対して、雑巾のかけ方やごみの捨て場所など、寄り添って優しく教える高学年の子どもたちの姿がとても頼もしく見えます。

縦割り班清掃が始まって3週目を迎えようとしていますが、清掃活動を通して、班としてのまとまりが着実に増してきているのを感じています。

お願い ◇登校時刻について～昇降口が開くのは7時30分です～

毎朝、張り切って登校してくる子どもたちの姿を見ると、思わず笑顔がこぼれてしまいます。「学校が楽しい！」という子どもたちの素直な思いが、早め早めの登校にも現れているようです。

そんな子どもたちの気持ちはうれしいのですが、中には7時15分頃にもう登校して来ている姿も見られます。あまりに早い時間ですと、教職員の指導の目が十分に届きません。本校では毎朝7時30分に児童昇降口を開けて、一日のスタートを切っています。特設クラブの早朝練習等のため、あらかじめ指定された特別の登校時刻となる場合を除き、通常、7時30分前は児童昇降口を開けていません。

各学級でも登校時刻について指導していますが、家を出る時刻について、それぞれの通学距離に応じてご家庭でもお子さんへの言葉かけをお願いします。